

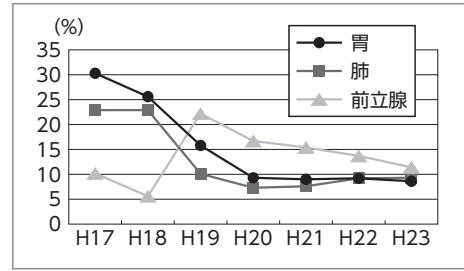
●●● 保健センターだより がん検診特集号 ●●●

～ がん検診 愛する家族への 贈りもの ～

みなさん、**がん検診**を受けていらっしゃいますか？

右のグラフは八百津町の、**がん検診受診率**の推移です。ここ数年悪くなっているのがわかります。

がんは日本人の死因の第1位であり、65歳以下の死因でも大きな割合を占めています。諸外国のがん検診受診率はとても高いそうです。日本でもがん検診受診率50%を目指して、さまざまな取り組みを行っています！！



胃がん

★**がんにかかる数が多い部位 (2007年)**

★ 2007年に新たに診断されたがんは70万4,090例

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	肺	前立腺	結腸	肝臓
女性	乳房	胃	結腸	肺	子宮
男女計	胃	肺	結腸	乳房	前立腺

日本人がかかるがんで最も多いのが胃がんです。しかし、死亡率は男女ともほぼすべての年齢階級で減少しています。早期胃がんの場合は、多くの患者さんが検診によって発見されています。八百津町では過去10年に9の方が発見されています。胃がんは、早い段階で自覚症状が出ることは少ない

ため、症状の有無にかかわらず、毎年定期的に検診を受けることが、早期発見のために最も重要なことです。

肺がん

近年、肺がんは日本人のがんによる死亡原因のトップです。(男性23.8% 女性13.5%を占める) さらにまだ増加する傾向にあります。肺がんのリスク要因として、喫煙習慣を切り離して考えることはできません。日本人喫煙者の肺がんリスクは男性で4.8倍、女性で3.9倍という結果です。予防のため、禁煙はもちろんのこと、毎年検診を受け、早期発見に努めることが大切です。

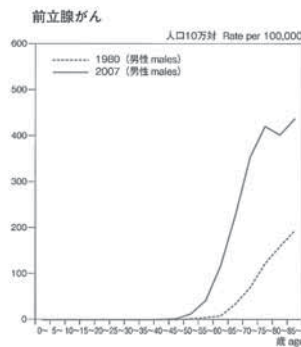
★**死亡数が多い部位 (2011年)**

★ 2011年にがんで死亡した人は35万7,305人

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	肝臓	結腸	膵臓
女性	肺	胃	結腸	膵臓	乳房
男女計	肺	胃	肝臓	結腸	膵臓

前立腺がん

★**年齢階級別前立腺がんにかかる率の推移**



年齢別にみると、65歳以上で前立腺がん患者数は増加します。1975年以降患者数は増加していますが、その理由の1つは、PSAによる診断方法の普及により、従来の直腸指診では困難であった早期のがんが発見されるようになったためです。八百津町では過去10年で48人のがんが発見されています。PSAによる診断は血液検査で行われ、短時間で済みますので、検診を受けましょう。

今、国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。

八百津町でも4人に1人ががんで亡くなっています。

自分自身やあなたを必要とする人のためにも、がん検診を受診しましょう！